



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 株式会社 石川製作所  
 コード番号 6208 URL <http://www.ishiss.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小長谷 育教  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部門長 (氏名) 森近 慶一 TEL 076-277-1411  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日

配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	11,756	15.1	220	38.9	176	47.7	100	83.9
2018年3月期	13,840	41.8	361	136.2	337	150.6	620	567.0

(注) 包括利益 2019年3月期 47百万円 (93.0%) 2018年3月期 682百万円 (203.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	15.69		2.9	1.4	1.9
2018年3月期	97.31		20.4	2.8	2.6

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	11,977	3,426	28.6	537.08
2018年3月期	13,459	3,378	25.1	529.57

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,426百万円 2018年3月期 3,378百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	766	92	1,050	573
2018年3月期	3,601	1,004	1,949	950

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		0.00	0.00			
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	21.3	100		115		130		20.38
通期	13,300	13.1	250	13.2	200	13.3	120	19.9	18.81

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	6,385,972 株	2018年3月期	6,385,972 株
期末自己株式数	2019年3月期	6,801 株	2018年3月期	6,791 株
期中平均株式数	2019年3月期	6,379,174 株	2018年3月期	6,379,217 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	7,100	26.3	35	29.8	85	52.1	60	9.6
2018年3月期	9,631	3.9	50	40.6	56	26.2	54	0.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	9.41	
2018年3月期	8.59	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	7,731		2,455		31.8		384.97	
2018年3月期	8,093		2,446		30.2		383.47	

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,455百万円 2018年3月期 2,446百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

(日付の表示方法の変更)

2019年3月期決算短信より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループの当連結会計年度における受注高は118億56百万円(前連結会計年度比17.8%減)となり、売上高は117億56百万円(前連結会計年度比15.1%減)となりました。

当社グループのセグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### 紙工機械

受注高は低価格帯の機種が増加したため25億5百万円(前連結会計年度比24.1%減)、売上高は機械販売台数が前期より半減したため20億78百万円(前連結会計年度比45.5%減)となりました。

#### 受託生産

受注高は17億74百万円(前連結会計年度比22.0%減)、売上高は17億19百万円(前連結会計年度比26.5%減)となりました。

#### 防衛機器

受注高は66億42百万円(前連結会計年度比15.8%減)、売上高は71億20百万円(前連結会計年度比8.0%増)となりました。

#### その他

受注高は9億34百万円(前連結会計年度比2.1%減)、売上高は8億36百万円(前連結会計年度比23.2%減)となりました。

損益面におきましては、2017年8月31日に完全子会社化した関東航空計器株式会社について、当期は期初から連結取り込みしたため防衛機器の売上高は増加したものの、それに伴う経費の増加と紙工機械及び受託生産の売上高が減少したことなどにより、営業利益は2億20百万円(前連結会計年度比38.9%減)、経常利益は1億76百万円(前連結会計年度比47.7%減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に関東航空計器株式会社を完全子会社化した際に計上した負ののれん発生益の反動減などにより1億円(前連結会計年度比83.9%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (イ) 資産

流動資産は前連結会計年度末に比べ12億65百万円(12.8%)減少し、85億94百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が12億79百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2億17百万円(6.0%)減少し、33億83百万円となりました。これは主に減価償却費の計上等により、有形固定資産が1億28百万円、無形固定資産が30百万円減少したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ14億82百万円(11.0%)減少し、119億77百万円となりました。

#### (ロ) 負債

流動負債は前連結会計年度末に比べ13億97百万円(18.4%)減少し、62億15百万円となりました。これは主に短期借入金が8億円、支払手形及び買掛金が5億11百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ1億32百万円(5.4%)減少し、23億36百万円となりました。これは主に長期借入金が2億10百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ15億30百万円(15.2%)減少し、85億51百万円となりました。

#### (ハ) 純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べ47百万円(1.4%)増加し、34億26百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が52百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益1億円の計上により利益剰余金が増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ3億77百万円減少(前連結会計年度は6億47百万円の増加)し、5億73百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は7億66百万円(前連結会計年度は36億1百万円の増加)となりました。これは主に仕入債務の減少額5億67百万円、たな卸資産の増加額3億45百万円により資金の減少となったものの、売上債権の減少額14億45百万円により資金の増加となったことによります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は92百万円(前連結会計年度は10億4百万円の減少)となりました。これは主に固定資産の取得による支出1億6百万円により資金の減少となったことによります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は10億50百万円(前連結会計年度は19億49百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純減少額8億円、長期借入金の返済による支出2億10百万円により資金の減少となったことによります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、次期の連結業績を売上高133億円、営業利益2億50百万円、経常利益2億円、親会社株主に帰属する当期純利益1億20百万円と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また、海外からの資金調達の実用性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	950	573
受取手形及び売掛金	3,996	2,717
仕掛品	2,995	3,440
原材料及び貯蔵品	1,875	1,774
その他	41	88
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,859	8,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,410	4,314
減価償却累計額	△3,458	△3,433
建物及び構築物（純額）	952	881
機械装置及び運搬具	5,200	5,050
減価償却累計額	△4,735	△4,649
機械装置及び運搬具（純額）	465	400
工具、器具及び備品	1,407	1,191
減価償却累計額	△1,318	△1,101
工具、器具及び備品（純額）	89	89
土地	883	883
リース資産	205	118
減価償却累計額	△135	△41
リース資産（純額）	70	76
有形固定資産合計	2,460	2,331
無形固定資産	47	17
投資その他の資産		
投資有価証券	951	882
その他	147	158
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	1,092	1,034
固定資産合計	3,600	3,383
資産合計	13,459	11,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,177	2,665
短期借入金	3,250	2,450
1年内返済予定の長期借入金	210	210
賞与引当金	188	158
製品保証引当金	9	3
その他	778	727
流動負債合計	7,613	6,215
固定負債		
長期借入金	1,612	1,402
退職給付に係る負債	647	726
その他	208	207
固定負債合計	2,468	2,336
負債合計	10,081	8,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	36	36
利益剰余金	1,038	1,138
自己株式	△7	△7
株主資本合計	3,066	3,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311	259
繰延ヘッジ損益	△0	—
その他の包括利益累計額合計	311	259
純資産合計	3,378	3,426
負債純資産合計	13,459	11,977

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	13,840	11,756
売上原価	12,172	10,047
売上総利益	1,667	1,708
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	358	437
役員報酬	128	164
その他	819	885
販売費及び一般管理費合計	1,306	1,487
営業利益	361	220
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	23
その他	16	9
営業外収益合計	36	33
営業外費用		
支払利息	48	57
その他	12	19
営業外費用合計	60	77
経常利益	337	176
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23
負ののれん発生益	383	—
事業譲渡益	25	—
特別利益合計	409	23
特別損失		
固定資産処分損	4	20
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	4	24
税金等調整前当期純利益	742	175
法人税、住民税及び事業税	96	79
法人税等調整額	25	△3
法人税等合計	122	75
当期純利益	620	100
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	620	100



連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	620	100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△52
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益合計	62	△52
包括利益	682	47
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	682	47
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,000	36	417	△7	2,446	249	—	249	2,695
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益			620		620				620
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						62	△0	62	62
当期変動額合計	—	—	620	△0	620	62	△0	62	682
当期末残高	2,000	36	1,038	△7	3,066	311	△0	311	3,378

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,000	36	1,038	△7	3,066	311	△0	311	3,378
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益			100		100				100
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△52	0	△52	△52
当期変動額合計	—	—	100	△0	100	△52	0	△52	47
当期末残高	2,000	36	1,138	△7	3,166	259	—	259	3,426

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	742	175
減価償却費	248	235
負ののれん発生益	△383	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53	△30
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4	△6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23	78
受取利息及び受取配当金	△20	△23
支払利息	48	57
事業譲渡損益 (△は益)	△25	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△23
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4
固定資産処分損益 (△は益)	4	20
売上債権の増減額 (△は増加)	2,121	1,445
たな卸資産の増減額 (△は増加)	890	△345
仕入債務の増減額 (△は減少)	△85	△567
未収消費税等の増減額 (△は増加)	66	△66
その他	29	△55
小計	3,709	899
利息及び配当金の受取額	20	23
利息の支払額	△47	△57
法人税等の支払額	△80	△99
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,601	766
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△134	△106
投資有価証券の取得による支出	△8	△18
投資有価証券の売却による収入	—	31
事業譲渡による収入	50	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△911	—
貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,004	△92
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,940	△800
長期借入れによる収入	1,200	—
長期借入金の返済による支出	△160	△210
リース債務の返済による支出	△49	△40
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,949	△1,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	647	△377
現金及び現金同等物の期首残高	303	950
現金及び現金同等物の期末残高	950	573

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「紙工機械」、「受託生産」及び「防衛機器」を報告セグメントとしております。「紙工機械」は、段ボール製函印刷機械等の紙工機械の製造販売を行っております。「受託生産」は、他社から各種機械の生産を受託しております。「防衛機器」は機雷等の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	紙工機械	受託生産	防衛機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,817	2,337	6,596	12,751	1,089	13,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	42	42
計	3,817	2,337	6,596	12,751	1,132	13,883
セグメント利益	14	163	500	678	192	871
セグメント資産	2,013	972	6,859	9,845	1,165	11,011
その他の項目						
減価償却費	60	46	125	231	16	248
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	36	36	67	140	7	147

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、繊維機械及び外観検査装置等の事業であります。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	紙工機械	受託生産	防衛機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,078	1,719	7,120	10,919	836	11,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	42	42
計	2,078	1,719	7,120	10,919	879	11,798
セグメント利益	71	97	453	623	140	764
セグメント資産	1,881	746	6,576	9,204	761	9,966
その他の項目						
減価償却費	40	41	136	219	16	235
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	24	19	47	91	5	97

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれないセグメントであり、繊維機械及び外観検査装置等の事業であります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,751	10,919
「その他」の区分の売上高	1,132	879
セグメント間取引消去	△42	△42
連結財務諸表の売上高	13,840	11,756

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	678	623
「その他」の区分の利益	192	140
セグメント間取引消去	△42	△42
全社費用(注)	△467	△500
連結財務諸表の営業利益	361	220

(注) 全社費用は、当社グループの管理部門に係る費用であります。

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,845	9,204
「その他」の区分の資産	1,165	761
全社資産(注)	2,544	2,011
連結財務諸表の資産合計	13,556	11,977

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金(現金及び預金他)、長期投資資金(投資有価証券他)等があります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	231	219	16	16	—	—	248	235
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	140	91	7	5	—	—	147	97

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	529.57円	537.08円
1株当たり当期純利益	97.31円	15.69円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	3,378	3,426
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	3,378	3,426
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	6,379,181	6,379,171

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	620	100
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	620	100
普通株式の期中平均株式数(株)	6,379,217	6,379,174

(重要な後発事象)

該当事項はありません。